

非営利法人ニュース

2020年
12月号
Vol. 91



発行 公益総研 非営利法人総合研究所
東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル
TEL 03-5405-1811 / FAX 03-5405-1814
編集協力 (特非)国際ボランティア事業団・(公財)公益推進協会・NPO法人設立運営センター

★★ 返済のない奨学金のお知らせ ★★

【1】「中村道子奨学金」

『介護福祉士を目指す専門学校の第1学年生対象』

- 応募資格：一都三県（東京・神奈川・千葉・埼玉）の介護福祉士を目指す専門学校の第1学年に在学し、2022年3月に卒業見込みの学生
- 募集期間：2021年2月7日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2021年度の奨学生は6名程度を採用します
- 給付等：専門学校1年間（12か月）、年額50万円を支給します



【2】「逸男記念 再チャレンジ奨学金！」

『一度進んだ道を軌道修正して再チャレンジしたいが、
経済的理由により困難な学生向け』

- 応募資格：医療・福祉・看護に関係する大学又は専門学校に進学
- 募集期間：2021年1月12日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2021年度の奨学生は3名程度を採用します
- 給付等：大学（専門学校）在学中 年額60万円（合計240万迄）を支給します

【3】「シャンティ奨学基金」

『関西2府4県の大学文系女子学生向け奨学金！』

- 応募資格：大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県の大学の文系学部在籍する四年生大学の2回生または3回生の女子学生
- 募集期間：2021年1月末日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2021年度の奨学生は1名を採用します
- 給付等：年額50万円を支給します。

◎情報満載！今月のもくじ◎

奨学金情報	1
非営利法人関連情報	2,3
CEOコラム	4
編集後記	4

☆奨学金応募先等☆

【1】【2】【3】奨学金

→公益財団法人公益推進協会

応募用紙等郵送先

〒105-0004

東京都港区新橋6-7-9

新橋アイランドビル2階

(公財)公益推進協会

担当 高野宛

- ・中村道子奨学金
- ・逸男記念再チャレンジ奨学金
- ・シャンティ奨学基金

お問い合わせ

03-5425-4201

(問合せ対応時間：平日10時～18時)

※詳しくは、財団ホームページ（<https://kosuikyo.com/>）をご覧ください、
申込書等はHPよりダウンロードし、必要事項を記入して提出してください

※奨学金、助成金情報はリンクフリーですので、ご自由にリンクしていただき情報提供をお願いいたします

「いったい国は何者か？どこに行くのか？」



公益総研株式会社 主席研究員兼CEO
公益財団法人公益推進協会 代表理事
(特非)国際ボランティア事業団 理事長 福島 達也

10月26日に召集された臨時国会で、ガースーこと菅義偉首相が就任後初の所信表明演説を行った。世間の評価は、もっぱら「面白みに欠ける」「具体性がない」など、安倍ちゃんに比べると、故事や歴史的名言を引用するような情緒的表現はなく、「理念より実利」というガースーの性格を表しているような感じだった。まあ、野党が問題視している「日本学術会議会員の任命拒否問題」に一切言及しなかったことなどどうでもいいので、それは良しとして、気になるのは、来年からさらに悪くなるであろう経済対策だ。

経済を破壊している最大の原因である「新型コロナウイルス対策」については、「状況は予断を許さない。爆発的な感染は絶対に防ぎ、国民の命と健康を守る」ということなので、具体的な策は何もないのだなあ・・・とガッカリだった。特段、大きな経済対策もなく、落ちるところまで落ちないと、立て直しの案もないのだろう。本当に悩ましい・・・。

次に挙げたのは、「縦割り行政の打破」「行政のデジタル化」だが、こちらは具体策を列挙して持論を展開！おっ、こっちが本音だな！！ そうなのだ！ “3大スガ案件”とも呼ばれる「携帯電話料金引き下げ」「デジタル庁創設」「不妊治療への保険適用」。これしかないと言っても過言ではないほど、ガースー政権はかなり低めの目標設定で、とりあえず無難に乗り切ろうという感じなのだろう。

早速携帯各社は値下げ競争に突入し、今は「格安スマホ」という言葉は根絶しそうなほど、大手3社は「格安」に向けてシフトを切り始めてきたのだ。携帯各社はきっと、裏で「なんで俺たちだけがやり玉に・・・」という気持ちだろうが、携帯電話を持っていない人は少ないので、この料金引き下げは、市民にとってはかなり大きなプレゼントとなるだろう。そういう意味では、ガースーも流石だ！！

「デジタル庁」については私は大賛成だ！！というよりも、遅すぎるのではないかと思うほど、日本はアナログ社会なのだ！前から何度も私は言うように、いまだにレジで現金で払っている「非国民」いや「クロマニオン人」たちを根絶させない限り、日本の発展はないと断言してもよい！

一番良いのは、昔の闇市や麻薬所持の摘発じゃないけど、「現金を持って歩いていたら即逮捕」「現金を取り扱うお店は強制的に営業停止」、それが一番良いのだが、ガースーにはそんな勇気も知恵はないだろうなあ・・・ガッカリ。

窓口に行かないと手続きできない典型的なアナログ大国からの脱却も必要だ！、何としても中国や韓国並みのデジタル先進国にしてほしい。

コロナのおかげで、窓口に行かなくても、スマホやパソコンで何でも手続きできるという方向に向かいつつあるので、その辺りは急速に進展しそうで楽しみである。

そして今回、所信表明最大の大ぼらは、「温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロ宣言」だろう。グリーン社会の実現ということにかなり力を入れるようで、成長戦略の柱として、脱炭素社会の実現を目指すと言明した。メディアのほとんどが「温室ガス2050年ゼロ宣言」を大見出しで伝えるなど、首相演説の最大の目玉となったのは間違いない！

ただ、遠大な目標に到達するための具体的工程については、「次世代型太陽電池の実用化のための研究開発」などを列挙しただけで、「再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、安全最優先で原子力政策を進める」などの一般論に終始。そうなのだ！ 71歳のガースーは、間違いなく30年後の2050年はあの世にいるわけだから、そんなに責任もないし、その方向に向かって、あとは次の首相にバトンタッチというわけだ！

30年後に野党から責任追及される心配もないのだから、目標をかなり先に設定するというのは、これから、多くの政治家の間で流行るかも・・・。そのころは自民党もないだろうし・・・

演説の締めくくりでは、自らの目指す社会像として「自助・共助・公助、そして絆」だ。なんだそれ？ちゃんとわかるように話してほしい。「自分で何とかしろ」「みんなで何とかしろ」「最後に政府もついでに頑張る」って！！これじゃあ、まるで政府のコロナ対策と同じだ！

とにかく、今回の所信表明を聞いて、この暗黒の時代を切り開く最善の策はないのだということが良くわかった。コロナのおかげで経済は地に落ち、会社はつぶれ失業者は増え、でも病気で亡くなる人は激減するけど自殺者だけは増えていくという最悪な状態を回避することはできないのだろうか？

今年は終わるが、来年が怖いと思うのは私だけだろうか？

でも、私は断言したい！！

2050年にはきっと車は空を飛び、地球以外の星で暮らすことができるようになり、病気も全部治るのだろうと！！

そして、このコラムももっと面白くなるだろう！って・・・生きてれば(笑)

.....CEOコラムバックナンバーはこちらから→ https://www.iva.jp/nposouken/ceo_column.html

編集後記

最近、投資に興味を持ち時間があるときは勉強をするようになりました。将来の不安からなのか、特に若年層で投資デビューする方が増えたようです。昔はどのように情報を得ていたのかわかりませんが、今ではオンラインセミナー、SNS、You Tubeなど色々なところから情報を得られるので敷居が下がったのかもしれないですね。残念ながら今後の日本では経済は衰退傾向にありますので、成長が見込める国に投資をして、その果実を享受することにより少しは豊かな生活ができれば良いと思っています。(ごんべい)